

移動等円滑化取組報告書（貸切バス車両）

（2019年度）

住 所 千葉県船橋市栄町一丁目10番10号

事業者名 京成バスシステム株式会社

代表者名（役職名及び氏名）

代表取締役社長 佐藤 克己

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律第9条の5の規定に基づき、次のとおり報告します。

I 前年度の移動等円滑化取組計画書の内容の実施状況

(1) 移動等円滑化に関する措置の実施状況

① 貸切バス車両を公共交通移動等円滑化基準に適合させるために必要な措置

対象となる貸切バス車両	現行計画の内容 (計画対象期間及び事業の主な内容)	前年度の実施状況
ノンステップバス	・路線バス型の貸切バス車両のノンステップバス導入率を40%超とする（2019年度）	2019年度は43%となった。

② 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる乗降についての介助、旅客施設における誘導その他の支援

対 策	現行計画の内容 (計画対象期間及び事業の主な内容)	前年度の実施状況
利用方法の周知	・バリアフリー車両（リフト付等）を利用したことがない乗客のために、予約方法や乗車方法についてウェブサイトなどを通じて周知を図る（2019年度）	乗合部門にて計画のとおり実施済み。

③ 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる情報の提供

対 策	現行計画の内容 (計画対象期間及び事業の主な内容)	前年度の実施状況
バリアフリー車両（リフト付）を運行する路線	・共同運行しているバリアフリー車両の運行時間について、ウェブサイト、停留所等で把握できるようにする（2019年度）	乗合部門にて計画のとおり実施済み。

④ 移動等円滑化を図るために必要な教育訓練

対 策	現行計画の内容 (計画対象期間及び事業の主な内容)	前年度の実施状況
乗務員の技術向上	・新人教育や定期的な教育を通じて、車椅子の乗降や高齢者・障害者の方の支援に関する教習を実施する（2019年度）	新人教育にて重点的に研修を実施した。

(2) 移動等円滑化の促進を達成するために（1）と併せて講ずべき措置の実施状況

乗務員や共同運行会社と定期的な情報交換を行い、寄せられたお客様の声を反映する体制づくりを行う。（2019年度）

(3) その他

--

II 貸切バス車両の移動等円滑化の達成状況

(2019年3月31日現在)

	公共交通移動等円滑化基準省令に適合した車両数				
	計	ノンステップバスの車両数	リフト付きバスの車両数	スロープ付きバスの車両数	その他の車両数
前年度車両数	11	11			
年度末車両数	13	13			

III 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律施行規則第6条の2で定める要件に関する事項

(1) 過去3年度における1年度当たりの平均の輸送人員が1000万人以上である。	
(2) 過去3年度における1年度当たりの平均の輸送人員が100万人以上1000万人未満であり、かつ、以下のいずれかに該当する。 ①中小企業者でない。 ②大企業者である公共交通事業者等が自社の株式を50%以上所有しているか、又は自社に対し50%以上出資している中小企業者である。	○

(第8号様式)

- 注1. 公共交通移動等円滑化基準省令に適合した車両数の欄には、公共交通移動等円滑化基準省令の全ての基準に適合している車両の合計数を記入すること。
2. ノンステップバスの車両数の欄には、公共交通移動等円滑化基準省令の全ての基準に適合しているノンステップバス車両の合計数を記入すること。
3. リフト付きバスの車両数の欄には、公共交通移動等円滑化基準省令の全ての基準に適合しているリフト付きバス車両の合計数を記入すること。
4. スロープ付きバスの車両数の欄には、公共交通移動等円滑化基準省令の全ての基準に適合しているスロープ付きバス車両の合計数を記入すること。
5. その他の車両数の欄には、公共交通移動等円滑化基準省令の全ての基準に適合している車両のうち、2、3及び4に該当しない車両を記入すること。
6. IIIについては、該当する場合には右の欄に○印を記入すること。
7. 「中小企業者」とは、資本金の額が3億円以下又は従業員数が300人以下である民間事業者を指す。
8. 「大企業者」とは、中小企業者以外の民間事業者を指す。